



10 2023

発行所 大阪市中央区玉造2-24-22 カトリック大阪大司教区 広報委員会 郵便番号 540-0004 TEL (06) 6941-9700(代表) TEL (06) 6946-3223(直通) FAX (06) 6946-3224(直通) E-mail: jiho@osaka.catholic.jp 編集 広報委員会 発行人 前田万葉

本紙「点訳版」「音訳」あります。〈無料〉 ※ご希望の場合は下記まで申込み 「点訳版(点字本)」 時報 ☎06-6946-3223(直通) 時間 ☎06-6946-3224(直通) 「音訳(テープ・デジ)」 山口さん ☎0798-34-4228

- ☆ 平和旬間報告
- ☆ 教区教員養成会
- ☆ 諸宗教対話委員会 第一回〜3回
- ☆ 元和大殉教って何?
- ☆ 青年と子どもの錬成会
- ☆ 司牧者から若者たちにこの一冊
- ☆ 信仰の時間 ヌノリマ神父
- ☆ ガラシア健康だより
- ☆ 大阪教区へのEメールアドレス=jiho@osaka.catholic.jp

『時報』原稿・資料等の締切は前々月末です。

# 大阪高松 大司教区設立に向けて

8月15日の教皇フランシスコによる新教区設立の発表を受け、大阪教区で働く司牧者に向けて8月31日に臨時の月修が開催され、新教区設立の報告と経緯が前田万葉大司教から説明され、統合に向けたプロジェクトについて酒井俊弘補佐司教から話があった。

## 大司教から経緯の説明

これまでの大阪教区と高松教区をそれぞれ解散して、同じ地区において「大阪高松大司教区」を設立することが発表された。

教皇フランシスコから、初代教区長の任命を受けた。設立・着座式をもって新教区としての歩みが始まる。

実は昨年からの統合に向けたアンケートなど歩みが始まっていた。それでも発表は来年ぐらいかと思っていたら、早かった。

8月15日発表というタイミングはちょうど良いと感じた。なぜなら、高松教区の司教座聖堂である桜町教会は被昇天のマリアにささげられた聖堂だから。

## 東京教区 パウロ森一弘名譽司教帰天



森一弘名譽司教は9月2日、上部消化管出血のため、東京通信病院(飯田橋)で帰天。84歳。横浜市出身。1967年司教叙階(ローマにて)。77年関口教会助任主任。

84年東京教区補佐司教に任命され、85年司教叙階。同年真生会館理事長に就任。2000年東京教区補佐司教退任。

酒井司教から 準備会について

いよいよ新しい大司教区が生まれ、スタートする。両教区の司教叙階は、10月9日に新大司教区司教になる。教区内で使っているメールのドメイン等はできるだけ早く新しくする。しかし、新大司教区が誕生

## WYD Lisbon 2023 ワールドユースデー

7月26日から8月6日まで、ポルトガルのリスボンを中心にワールドユースデーが開催されました。

コロナ禍で1年延期となりましたが、世界中から約150万人が参加しました。大阪教区からは神学生を含めて8人が参加しました。それぞれが国際的な交わりをとおして自分の信仰を見つめなおす良い機会となったと思います。

今回は2027年にお隣の韓国で開催されます。たくさんの青年たちの参加を待っています。(青少年委員会 委員長 春名昌哉)



行動グループの皆と(リスボン)

WYD(ワールドユースデー)の日々は、毎日が刺激的でした。コインブラでの教区の日々では、地元のスカウトの子たちとのアクティビティを通じて、コインブラの街を知りました。アクティビティの前に自然と始まる、歌やダンスがとても楽しかったです。気がつくとも自分も参加していました。ユースフェスティバ

ルで日本巡礼団のみんなと踊った「ソーラン節」は一体感を感じました。リスボンでの本大会は、基本的にグループに分かれての行動でした。僕のグループは国際交流が好きなのが通じ、今年度は基本今までの通りですが、大阪教区で行われるものでも、できるだけ高松教区に参加を呼びかける。24年度をどうするかはこれから考える。

また、宗教学者に関連すること、文化庁と交渉する必要がある、いつ変更できるかわからない。統合に向けては組織面と行面との課題がある。組織

面では、委員会などに違いがあるが、統一してゆきたい。その際、実務にかかわる者が話し合っすり合わせるのが良いと思う。行事面では、今年度は基本今まで通りだが、大阪教区で行われるものでも、できるだけ高松教区に参加を呼びかける。24年度をどうするかはこれから考える。

(文) 広報委員会 委員長 川部裕明)

7月26日から31日までの6日間、コインブラという地でホームステイをして過ごした。私は、修道院にお世話になることになった。そこでは本当に良くしていただいた。何か手伝おうとすると「座って食べていて」と言ってくれたり、私が何



お世話になったコインブラの修道院

た。ファティマでは、ここにマリア様がいらしたという実感がすごく湧いた。リスボンでは、パパ様の歓迎式典や十字架の道行、徒歩巡礼や徹夜祭、派遣ミサなどが行われた。どれもすごい人ばかりで、経験したことのない臨場感と、これまでと比べ物にならないくらいに神聖な気持ちになった。心に響くミサばかりで、思わず涙が出たミサもあった。

今回、私にとって初参加となったワールドユースデー。全体を通して実感したことは、人と人との繋がりの大切さだ。暖かく声をかけ合っている、支え合い、助け合った大会だったと感じる。真剣に自分と向き合うことが出来て、真剣に祈ることが出来て、自分が豊かになったと感じる大会となった。

(文) 玉造教会 田中愛称)

## 大阪教区 典礼研修会 今あらためてミサを味わうために

司式者の所作の意味・奉仕者の役割・会衆の参加 ~感謝の典礼を中心に~

主催:大阪教区典礼委員会

講師:パウロ 酒井俊弘 補佐司教

2023年10月29日(日曜日)

2時から4時

サクラファミリア(カトリック大阪梅田教会) 聖堂にて

事前お申込み不要・どなたでも受講できます

